

A 一斉学習 (A 1)

主な学習活動

自分が興味をもった生き物について調べ、見つけたことをカードに書く。

1 本時のねらい

自分が興味をもった生き物について書かれた文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

プロジェクタ

ファイル共有

授業支援

3 参考にしてほしいポイント

導入において、生活科で自分たちが虫取りをした様子をプロジェクタを使って提示することで、学習した「うみのかくれんぼ」のように、自分たちも「虫のかくれんぼ」をつくりたいという意欲付けを図ることができる。また、授業支援アプリで虫の資料を提示することで、特徴や隠れ方について書かれている言葉に着目し、色分けしながら線を引き、友達と確認し合うことができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
導入展開	自分が興味をもって調べたい虫を選ぶ。文章の中から体の特徴や隠れ方について書かれている言葉を見付け、線を引く。	(プロジェクタ) 自分たちの虫取りの様子を提示することで、「虫のかくれんぼ」に興味・関心をもたせることができる。 (授業支援アプリ) いくつかの虫の資料を準備しておくことで、興味のある虫を選びやすくしたり、虫について書かれた文章に色分けをして線を引いたりすることができる。

タブレット

+

プロジェクタ



バッタは草の色と同じで、見つけるのが大変だった！



「このはちょう」の特徴は、どこに線を引いたの？

4 活用効果

プロジェクタで自分たちの虫取りの様子を提示することによって、学習した「うみのかくれんぼ」のように「虫のかくれんぼ」を調べてみたいという意欲を高めることができた。

また、授業支援アプリに資料を準備しておくことで、スムーズに自分の興味のある虫を選び、特徴や隠れ方が書かれた部分を選び出す資質・能力を効果的に育成することができた。

5 アドバイザーからのコメント

虫取りという活動の中で、子どもたちは興味をもって探したり採集したりします。これを文章化したり、写真で提示したり、つまり情報を外化することで、自分事になります。それは、活動から学びへ、というプロセスと呼んでもいいのです。
(東京工業大学 赤堀侃司)

文章や画像などのデジタルコンテンツに書き込みを入れていくことで、低学年のうちには特に自身が着目した箇所の認識に役立つことが期待できます。授業支援アプリ上でデータを準備し共有すると、準備が楽になりますし、個々の学習記録としても残せるためおすすめです。
(福島大学 平中宏典)